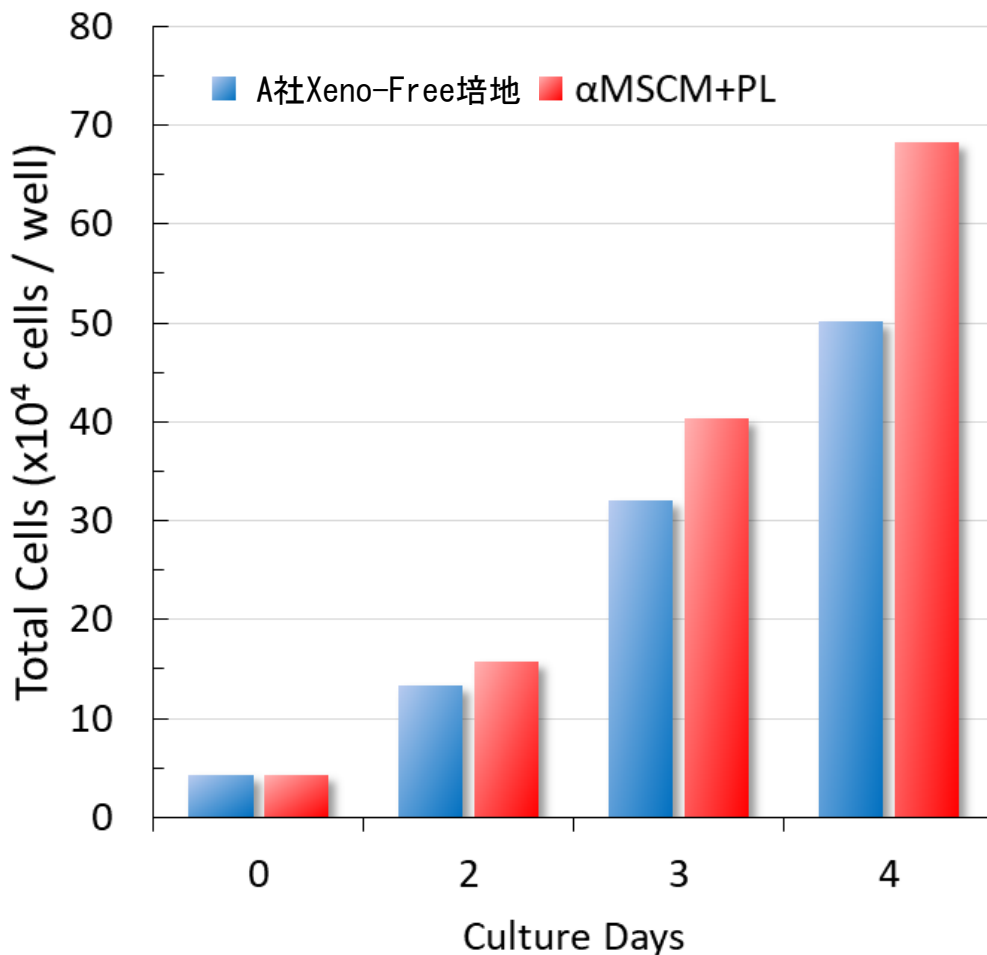


# αMSCM+PL培養液と他社培養液の ヒト臍帯幹細胞培養比較試験

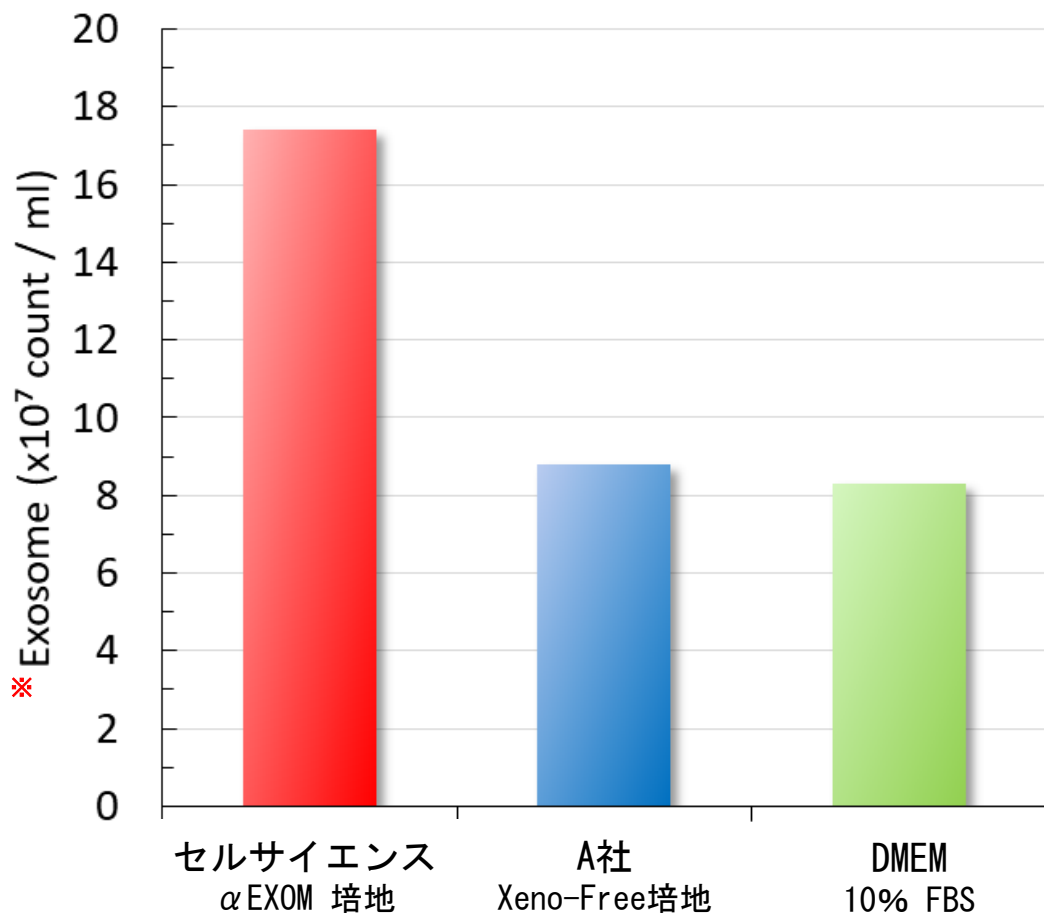
方 法： コラーゲン処理をした6ウェルプレートに4,000個/cm<sup>2</sup>の細胞密度にαMSCM+PLとA社Xeno-Free培地で植え込み、培養2~4日目までの細胞数を測定し、細胞増殖性能を比較検討した。



結 果： それぞれの培養液の平均倍加時間は、αMSCM+PLが22.5時間、A社Xeno-Free培地が28.7時間でありαMSCM+PLが優位な増殖性能を示した。

# エクソソーム生産培養液「αEXOM」培地と他社培地で 培養したヒト臍帯幹細胞のExosome生産量の比較

方 法： αMSCM+PL培地でヒト臍帯幹細胞(UCMSC)を培養し、細胞が培養容器底面の50~60%に到達したことを確認し、検証用培地に置換する。培地置換後3日間培養し、培養上清を回収、回収した培養上清をExoCounter (JVCKENWOOD)でCD63陽性エクソソーム量を測定した。



結 果： αEXOM培地が他の2種類の培養液と比較して約2倍多くExosomeを生産した。

※それぞれ未使用の培養液をブランクとして、エクソソーム分泌量を算出した。